

# 事業評価調書

## ◎基本情報

|             |  |   |   |            |       |              |
|-------------|--|---|---|------------|-------|--------------|
| 年度          | 令和3年   | 会計コード   | 10  | 一般         | 事業コード | 36927        |
| 事業名         | 姉妹・友好都市交流関連費   |   |   |            |       |              |
| 評価担当課       | 所属名  | 総)国際部 交流課   |   |            |       |              |
|             | 課長名  | 細川 秀樹   | 担当者名  | 菅原 樹       | 電話番号  | 011-211-2032 |
| 施策名         | 主  | -   |   |            |       |              |
|             | 副  |   |   |            |       |              |
| アクションプラン    | ○ 対象 ● 対象外   |   | 戦略ビジョン  | ○ 対象 ● 対象外 |       |              |
| 事業の性質       | ● 経常経費 ○ 臨時的経費   |   |   |            |       |              |
|             | ○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理   |   |   |            |       |              |
| 事業内容        | 実施形態   | ● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他   |   |            |       |              |
|             | 目的   | 短期  | 市民の国際理解の促進や札幌市と各都市間に築かれた多面的関係の一層の緊密化を図る。                          |            |       |              |
|             |  | 長期  | 札幌の5つの姉妹・友好都市との交流を通して、市民の国際理解の促進、札幌市の国際化の推進並びに海外諸都市とのネットワーク強化を図る。 |            |       |              |
|             | 取組内容   | 令和2年に周年記念を迎えた瀋陽市(40周年)、ノボシビルスク市(30周年)、大田広域市(10周年)との周年記念事業を令和3年度実施する。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、産学官民の様々な主体が多様な交流事業やPR事業を実施することで、広く市民の参加や関心を喚起する。 |   |            |       |              |
|             | 実施結果   | 令和3年度は、前年度に延期した周年記念事業を中国・瀋陽市、ロシア・ノボシビルスク市、韓国・大田広域市とそれぞれ行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、往来はせず、それぞれの都市がオンラインや書簡にて周年を祝った。                              |   |            |       |              |
| 事業実施における工夫点 | コロナ禍で依然として往来ができない状況だが、これまで積み上げてきた交流を基礎にオンライン交流を実施。オンライン交流には、気軽に参加できるという特性から多くの子どもたちに海外の同年代の子どもたちと交流する機会を提供するよう努めた。 |   |   |            |       |              |
| 対象者         | 市民   | 開始  | 0 年度  | 終了         | 0 年度  |              |
| 関連法令・条例・要綱等 |  |   |   |            |       |              |
| 他都市の状況      | 他都市においても5年毎の節目の年に記念事業を実施している。  |   |   |            |       |              |

## ◎事業費

(単位:千円)

|            | 令和2年度決算 | 令和3年度予算   | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 |
|------------|---------|---|---------|---------|
| 事業費        | 140     | 12,947  | 270     | 9,812   |
| うち特定財源     | 0       | 0   | 0       | 0       |
| 人工         | 1.4     | 1.4   | 1.4     | 1.4     |
| 人件費        | 10,080  | 10,080  | 10,080  | 10,080  |
| 計(事業費+人件費) | 10,220  | 23,027  | 10,350  | 19,892  |
| 事業費の内訳     | 令和3年度決算 | ①ノボシビルスク市との交流事業:270千円   |         |         |
|            | 令和4年度予算 | ①瀋陽市、ノボシビルスク市、大田広域市との交流等:900千円<br>②ミュンヘン市との交流事業:8,412千円<br>③その他:500千円 |         |         |

◎検証(振り返り)

|                              |   |  |                 |  |
|------------------------------|---|--|-----------------|--|
| 活動指標1                        | 指標名   | 姉妹都市との交流事業数  |                 |  |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度予定  | 令和3年度実績         | 令和4年度予定  |
|                              |   | 3  | 3               | 1  |
| 活動指標2                        | 指標名   |  |                 |  |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度予定  | 令和3年度実績         | 令和4年度予定  |
|                              |   |  |                 |  |
| 成果指標1                        | 指標名   | 市民の国際交流への関心度   |                 |  |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度目標  | 令和3年度実績         | 令和4年度目標  |
|                              | 53  | 50   | 44.9            | 50   |
| 成果指標2                        | 指標名   |  |                 |  |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度目標  | 令和3年度実績         | 令和4年度目標  |
|                              |   |  |                 |  |
| 項目                           | 判定  | 理由   |                 |  |
| 事業の成果<br>(目的をどの程度達成できたか)     | A   | 各都市との姉妹・友好都市提携周年事業については、新型コロナウイルス感染症の影響から相互訪問や式典等の実施はできなかった。その中でも、オンラインを活用した交流を行い、将来を担う札幌の子どもたちに、海外の同年代の子どもたちとの交流を通じて、国際感覚の醸成や異文化理解を推進する機会を提供できた。        |                 |  |
| 事業規模<br>(事業ボリュームは適切か)        | A   | オンラインで行った交流会においては、小学校、中学校、高等学校の学年や学級の単位で開催することにより、短い時間で質の高い交流を行うには適切な事業規模であると考ええる。   |                 |  |
| 事業の実施手法<br>(事業の効率性、実施主体は適切か) | A   | オンラインでの交流は、既存の機器を使用することで追加の費用負担がなく、比較的参加が容易な取組であり、コロナ禍においては、適切な手法であると考ええる。   |                 |  |
| 対象者の満足度<br>(対象者のニーズに込えているか)  | A   | 海外との対面交流が難しい時期において、参加した児童、生徒や学校関係者から、貴重で有意義な経験だったと高い評価を得た。感想の中には、実際に行って会ってみたいという感想も聞かれたことから、国際感覚の醸成や異文化理解の推進に資する取組ができたと考ええる。                             |                 |  |
| 市民参加の実施                      | <input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外   |  | 市民参加結果への対応      | <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映 |
| 今後の改善点                       | 周年事業終了後も姉妹・友好都市との友好関係を継続していくために姉妹・友好都市とのネットワークの強化に努める必要がある。また、感染症等により相互往来が難しい時期においても、市民や各関係団体の関心度を向上させるため、姉妹・友好都市を身近に感じられるイベントなど市民参加の機会を充実化させ、市民向け広報活動をより積極的に行う必要がある。 |  |                 |  |
| 前回の評価                        | ● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし   |  |                 |  |
| 今年度取り組んだ見直し内容                | なし  |  | 見直し効果額<br>(前年度) | 0 千円   |
| 今回の評価                        | ● A      ○ B      ○ C      ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし   |  |                 |  |
| 評価の理由                        | 新型コロナウイルス感染症の影響で交流が難しい時期にあっても、オンライン交流により、市民の異文化理解促進と各都市とのネットワーク強化を実現できた。今後も、市民全体の国際交流への関心度をさらに高めるようなより効果的な事業周知に取り組む。  |  |                 |  |
| 次年度の取組の方向性・改善内容              | 事業内容  | <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止<br>ミュンヘン市との姉妹都市提携50周年記念事業を実施する。                      |                 |  |
|                              | 予算  | <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他<br>往来による交流を実施するための費用を確保する。 |                 | 見直し効果額<br>0 千円   |